

(市川市PTA連絡協議会研究大会報告書)

第4分科会 テーマ:Pの求めるTの姿 小学校保護者2 司会:PTA連絡協議会理事(真間小)

参加者 別紙

1.自己紹介、意見発表

聖職者・・・子供たちと先生、保護者と先生(学校)のより良い信頼関係を築ける人間としての資質にかかっている。

ホスピタリティー精神を常に持ち善悪の判断できる人間こそが私たちの求める先生の姿です。

いろいろな制約があるが必要以上に生徒と他人行儀な付き合いになっていると思う。親は、子供を学校に預けているのだから先生が親代わりでもあるはず。もっと厳しい態度での指導を望みたい。ひとりの人間を育てるという職業を選択した以上ビジネスと割り切れないことが多々あるはず。世の中の常識や制限に縛られ画一化された教師より、強い態度で自分の教師像を貫く人間味のある親代わりの教師の姿を求めます。

全力で教育活動にあたって欲しい PとTが理解し信頼しあうことが大切 時間的・精神的余裕のある保護者が少なくなっている状況の中でお母さん(お父さん)たちに目を向けて手を貸して頂ければと思います。こうして得られた信頼は、大きな絆になることでしょう。

形式が優先になってしまいがち。 避難訓練等に疑問を感じる。

私たちが小さい時の先生との違いを感じている。学校で放課後遊べないという事が要因のひとつではないか・・・放課後校庭を開放して欲しい。

小さな学校から移ってきたが先生との距離を感じた もう少し先生が入り込んで欲しいと思った。

指導力はもとより核家族が進んでいる現在では、子供の周りには数少ない人生の先輩として大人としていち個人として自立してゆくサポートをして欲しい。

活発な先生との出会いで子供がチャレンジするようになった。
子供たちの話を聞いて欲しい。

勉学と合わせて集団生活を通して人や地域との関わり方を学ばせ拾い視野を持った子供に育てる教師。人間的な視野を持った子供を育てて欲しい。

どの子供にもかけがえのない存在として愛情を持って接して頂きたいと思います。子供たちが本来持っている素晴らしい可能性を見失わないよう必要なことは何かと問うことが大切だと思います。そこから先生と子供たちの信頼関係が深まり学級運営、授業内容にも生かされてくるのでは、ないでしょうか

毎年新任の先生に受け持ってもらっているが先生の研修等に多くの時間が費やされコミュニケーションを取ることが難しい。
魅力ある授業を作りたいみんなが理解できる授業へは子供たちがその勉強に興味を持てるようにして欲しい。

人によるが先生方もモンスターペアレントに引いてしまい無難な対応になっているように感じる。

精神的、肉体的にも健康である事。人間的に豊かである事。先生自身が学ぶ姿が必要である。
子供が先生を信頼し人間的な姿を見せることによって子供も成長する。

モンスターペアレントといわれる人々の存在が多く、熱意ある先生方の心を傷め時には苦しめている。一方的な自分の価値観だけで物を言う人が増えています。その一因は自分たちの価値観に疑いを持たないこと、他人との関係の中で物を見ることが出来ないからだと思うがそのようになったのは、前の世代が自分にとって楽で都合のいい生き方を今の親の世代に教えてきたからです。モラルがないのは老いも若きも同じです。

今の親の世代より少し上の先生方には、学校は子供にとっての社会であることを根気強く若い親たちに話して欲しい。若い先生方には、ある意味若い正義感で YES・NO をはっきり言う勇気と情熱を何時も忘れないで欲しい。PTA 活動で大切なのは、他人を知る努力が大切だ貴重だと思うきっかけ作りになることだと思います。先生方には、堂々といつも明るくいきいきと次代を担う子供たちに接して頂きたいとおもいます。

子供の基本的な躰け(マナー)を家庭でしなければならない。

学校と親との温度差があり学校の敷居が高いと思った。一方的でなく P と T で苦楽を分かち合うことが大切だと思った。

2 まとめ

理想の教師像

1 教職に対して強い情熱を持つ

なぜ先生になりたかったのかという気持ち 子供に熱く接して欲しい

2. 専門家としての確かな力量

学校は、学習する所 子供をまとめる力 生徒指導力を求める

3. 総合的な人間力

保護者は管理職に任せるだけでなく P と T のコミュニケーションが必要

3. 何か言っておきたいことがあれば・・・

先生個人の資質が問題である

人間的な視野を持った人であって欲しい

先生と子供のコミュニケーションをとる際に教師からの視線がクラスをひとつの単位としてとらえているようだが子供ひとりひとりの個性をしっかりとらえて見て欲しい。落ち着きのない子も単純に叱るのでなく興味をたくさん持った子としてとらえたらどうか(短所を見るのではなく別の見方をし長所を伸ばす力量が欲しい)

子供に掛ける言葉も子供それぞれで受け止め方が違うことをわかって欲しい。

昔の先生(P の世代が習った先生)との比較が多数出たが根本的な教育的指導は、昔も今も変わらないと思う

子供が満足していたら親にとっても信頼できるいい先生となるのではないのでしょうか

親も子供も信頼できる教師にならなくては、いけない！！
